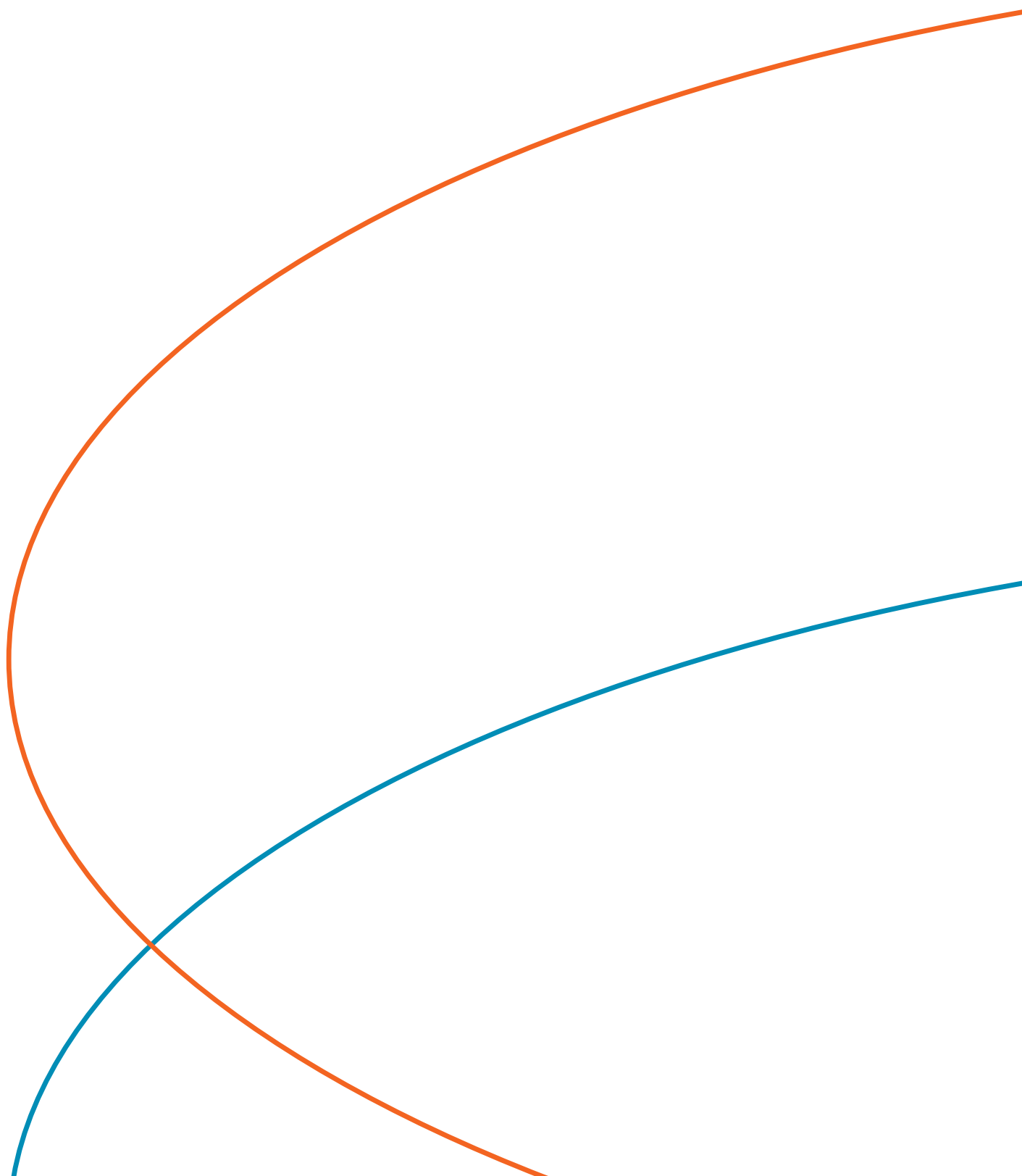


心地よい環境を、未来へつなく。



# CORPORATE PROFILE

EBARA JITSUGYO CO., LTD.



## 私たちの誇り。

それはこれまで、多様なお客様のニーズと、  
その時々为社会要請に真摯に応え、  
人々の生活環境の構築と向上に貢献してきたこと。  
同時に、自然環境への負荷低減にも取り組んできたこと。

## 私たちの約束。

それはこれからも、水、空気に循環をもたらし、  
エネルギーを再生させることで、人々の健康を守り、  
快適かつ安心安全な  
「心地よい環境」を生み出していくこと。  
自然との調和、共存を目指すことで、  
人間を含む地球全体の  
「心地よい環境」を創り出していくこと。

今日ある日常が  
このまま続くとは限らないこの世界で、  
時代や社会要請の変化を捉え、  
そうした「心地よい環境」を  
明日へと引き継いでいくことこそが、  
私たち荏原実業の存在意義です。

## 心地よい環境を、未来へつなぐ。

荏原実業



代表取締役会長兼CEO  
鈴木 久司

代表取締役社長執行役員兼COO  
石井 孝

私たちは、1945年の創業以来、皆さまの温かいご支援とご指導をいただきながら、常に社会のニーズに応える熱意をもって事業に取り組んでまいりました。

ポンプに代表される風水力機械の販売から出発し、その後、水インフラ設備のエンジニアリングを行うなかで研究開発を進め、独自の技術とノウハウを培い、多くの環境関連製品を世に送り出すようになりました。

予測不可能な時代に私たちは技術と人の力を活かして新たな領域を切り開き、さまざまな社会課題の解決に向けた最適な答えを創り出してまいります。

持続可能な地球環境と快適で安心安全な生活環境を未来につないでいきたい。そう願うすべての皆さまの支えとなる「トータル環境ソリューションカンパニー」へと進化するため、私たちはこれからも、たゆまぬ努力を続けてまいります。

皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# コーポレートブランド

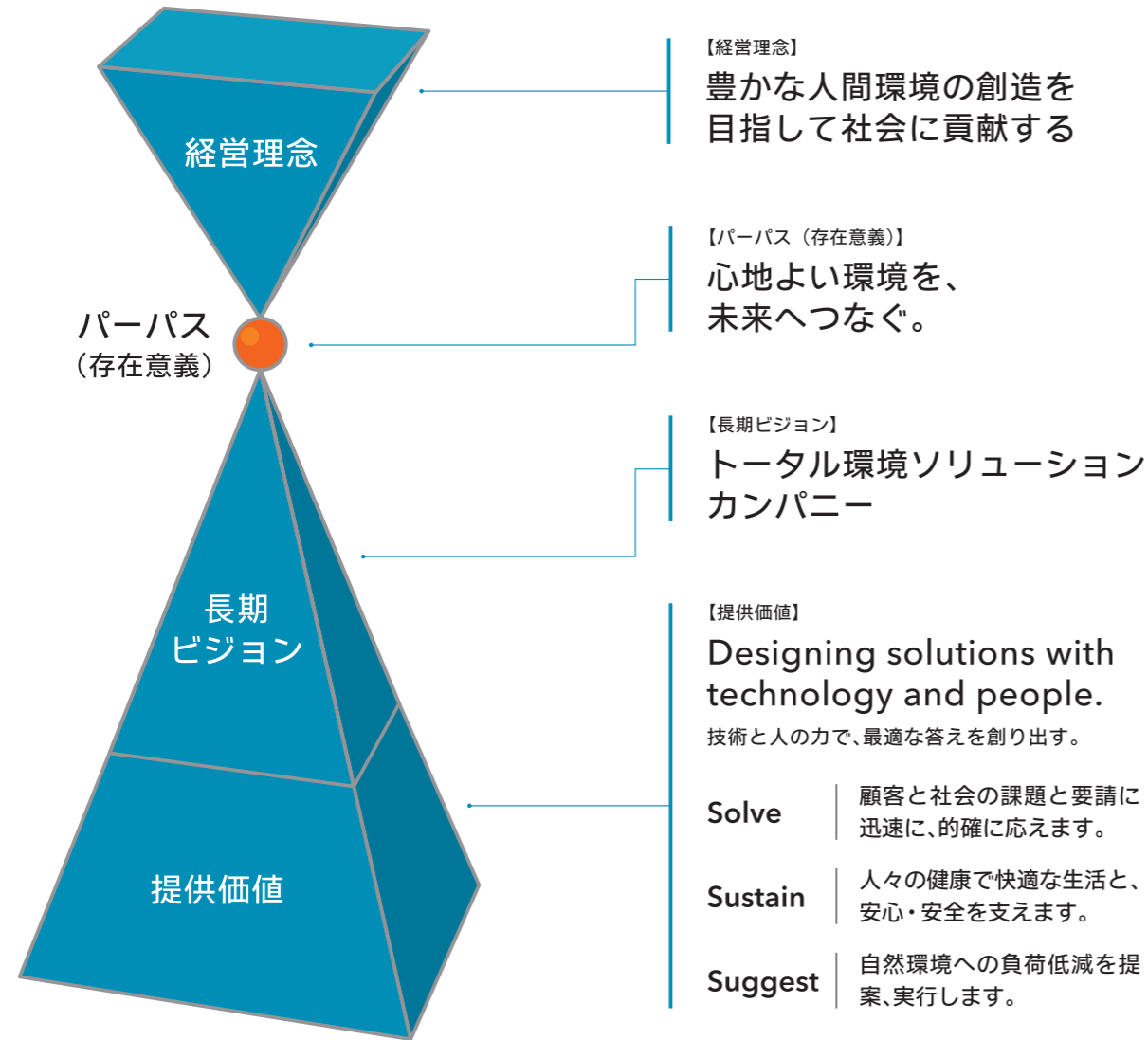
CORPORATE BRAND

荏原実業トータル環境ソリューション  
 EBARAJITSUGYO Total Environmental Solutions  
 の略称としてEbatens (エバテンス)と名付けています。

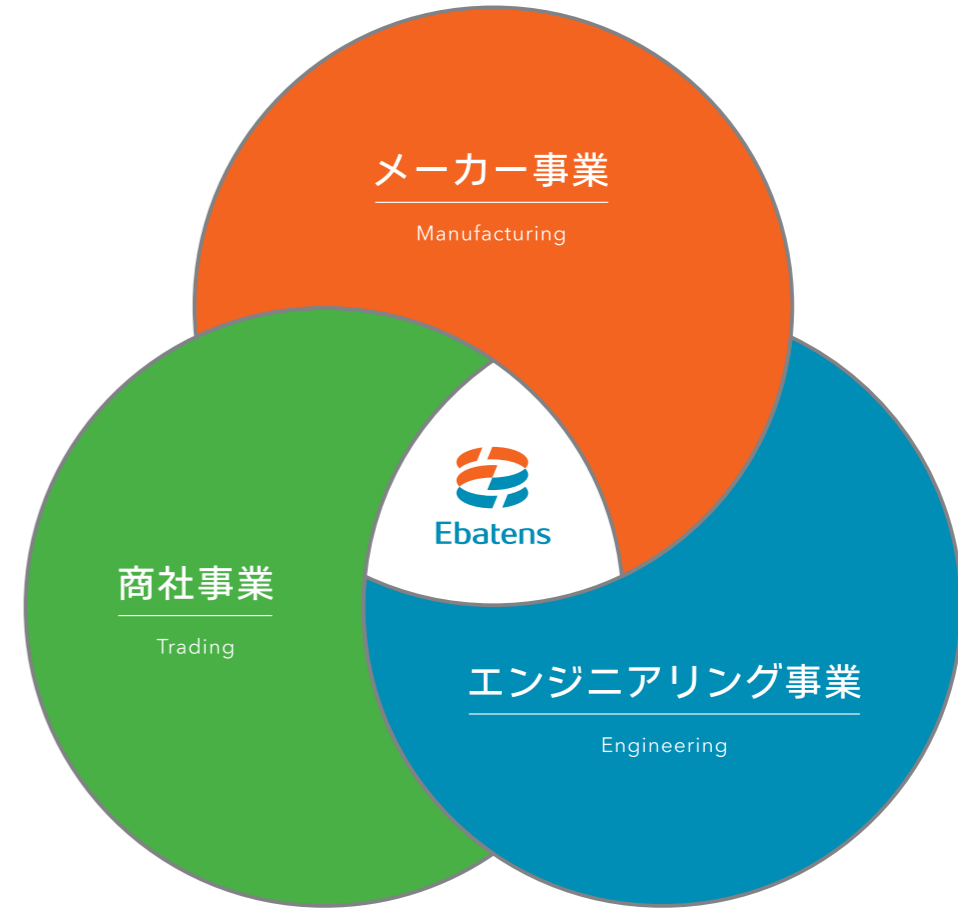


# 価値体系

VALUE STRUCTURE



# 事業領域

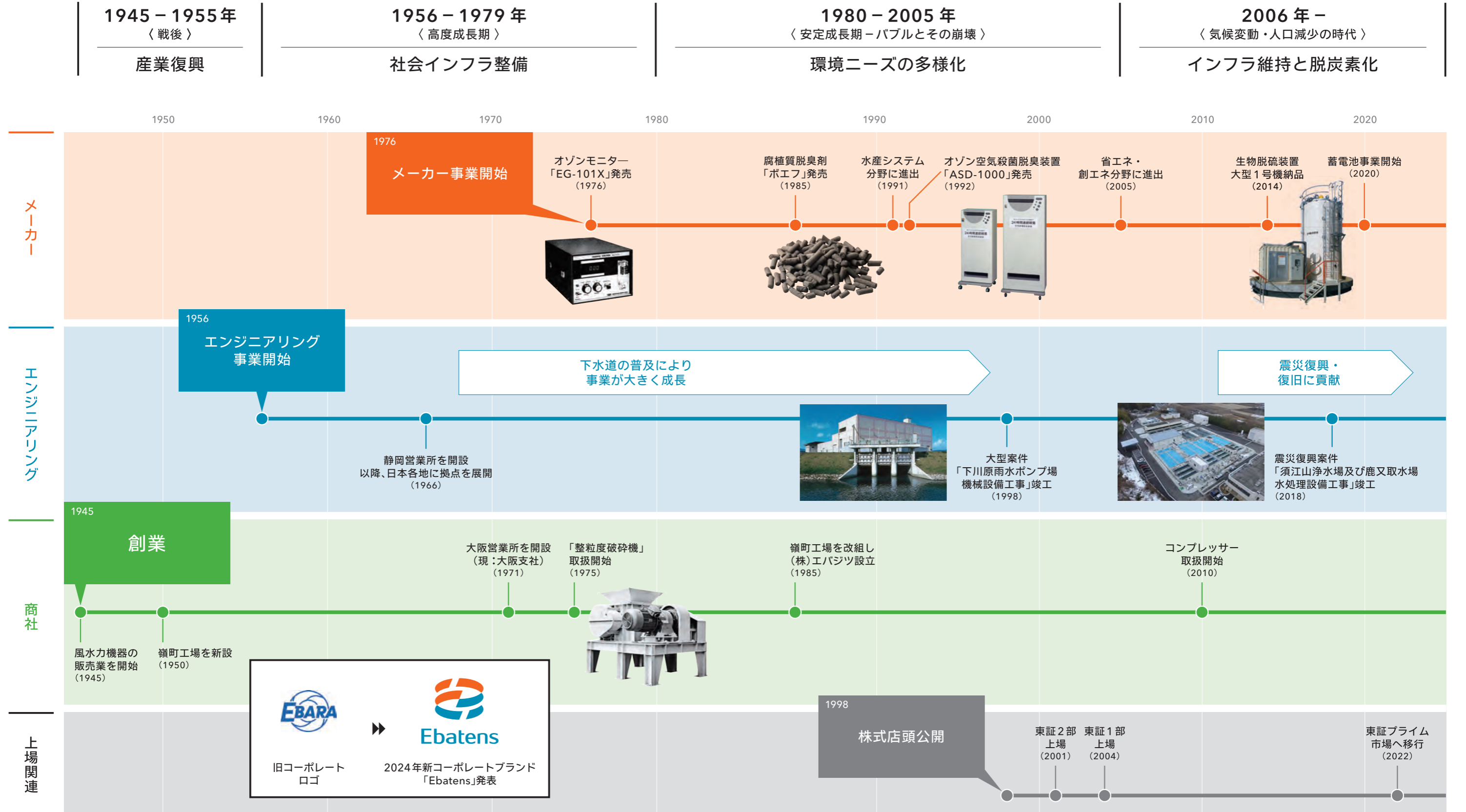


荏原実業は「水」と「空気」の領域で、人々の生活環境の向上と自然環境への負荷低減に関わる事業を行っています。

事業領域は3つに分類されます。クリーンな環境づくりに貢献する製品を開発するメーカー事業、水インフラ施設における設備の施工を担うエンジニアリング事業、ビルなどの建築物に欠かせない給排水機器や空調設備機器などを供給する商社事業。それぞれの領域で人々の「心地よい環境」を支えています。

# 沿革

荏原実業は戦後間もない1945年に風水力機器の販売代理店として事業を開始しました。戦後の日本における上下水道の普及に合わせて事業を拡大し、1998年には株式を公開しました。めまぐるしく変わる日本の社会変化と地球レベルでの解決が必要な環境課題に対応すべく、2024年に発表した新コーポレートブランド「Ebatens」のもと、今後も新しい取り組みを加速していきます。



# メーカー事業

1976年に国産オゾンモニタを開発・発売して以来、水、空気、エネルギーの分野で、人々の生活環境の基盤を支える製品を生み出してきたメーカー事業。高度経済成長期以降、生活水準の向上と環境意識の高まりによって、新しいさまざまなニーズが発生しました。それを現場でいち早く察知し、「計測」「省エネ・創エネ」「水処理」「脱臭」「水産」などの分野に開発・製造の領域を広げ、さまざまな環境課題へソリューションを提供してきました。メーカー事業の特徴は、工場を所有せず製造を外部に委託するファブレスモデル。市場のニーズを先取りした商品をいち早く企画・開発することを可能にし、安心・快適かつクリーンで持続可能な社会の実現に貢献しています。



## 製品情報 Products



■ 計測  
高精度オゾンモニタ

オゾン濃度を測定する計測器。高度上水処理におけるオゾン濃度の管理をはじめ、さまざまな用途に対応しています。



■ 省エネ・創エネ  
住宅用蓄電池

全負荷対応型の定置型蓄電池。停電などに備え非常用の電力を蓄えます。太陽光発電を導入する住宅等に設置されています。



■ 水処理プラント  
高効率砂ろ過器 エコスイング

巡回逆洗方式の砂ろ過器。地下水や河川水などから濁質を除去します。水産施設をはじめ、さまざまな用途で導入されています。



■ 脱臭  
腐植質脱臭剤 ポエフ

腐植質を原料とする脱臭剤。下水処理場等で採用されており、製造時の環境負荷が低いという特徴があります。



■ 水産  
陸上養殖システム

陸上で水産物を養殖するためのプラントシステム。水産試験場や事業用設備など多くのプラント構築の実績があります。



### Pick Up

## レジリエンス社会に貢献する防災ソリューションを提供

荏原実業では、台風や落雷などの自然災害による電源の喪失や浸水による制御盤の故障で停止したマンホールポンプを迅速に復帰させることができる支援システム「停電時マンホールポンプ起動支援システム」を提供しています。可搬型蓄電池や電動車両を用いることで機動的な電源供給を実現し、電気工事士の資格を持たない人でも簡単に接続できる仕様です。高出力・高容量でコンパクトな仕様であるため、狭い施設でも効率よく復旧作業を行えます。



■ 計測  
多項目水質計器 s::can シリーズ

複数の水質項目を同時に連続で測定できる水質計。流入水、排水管理の現場で採用されています。



■ 省エネ・創エネ  
小型デシカント除湿機 EJ-DRY

デシカント式の除湿機。季節に依らず除湿が可能で、小売店舗のバックヤード等で採用されています。



■ 水処理プラント  
産業排水処理システム

排水の放流基準の改正など、食品工場をはじめとするさまざまな産業の水処理課題に対して最適な設備を構築します。



■ 脱臭  
生物脱硫装置

高濃度の硫化水素を微生物の力で除去する脱硫装置。バイオガス発電施設等に導入されています。



■ 医療  
簡易陰圧装置

簡易工事で陰圧室を実現する空気清浄機。空気感染対策を目的として医療機関等に導入されています。

# エンジニアリング事業

水処理プラントなどの大型設備の取扱いを契機に1956年からスタートしたエンジニアリング事業。施設の設計・施工・保守を一貫して請け負うこの事業は創業から10年余りが経過し、全国の地方自治体が上下水道の整備を推し進めるなかで、荏原実業がビジネスを全国へと展開する契機となりました。東京オリンピックの開催に伴うインフラ整備、高度経済成長など、社会が移り変わるなかで蓄積された専門知識と技術で日本全国の上下水道インフラを支えています。

荏原実業は社員の多くが公的技術資格の保持者。高い技術力を背景に営業活動における提案から設計・施工、設備のメンテナンスに至るまで安心・安全の品質でサービスを提供しています。



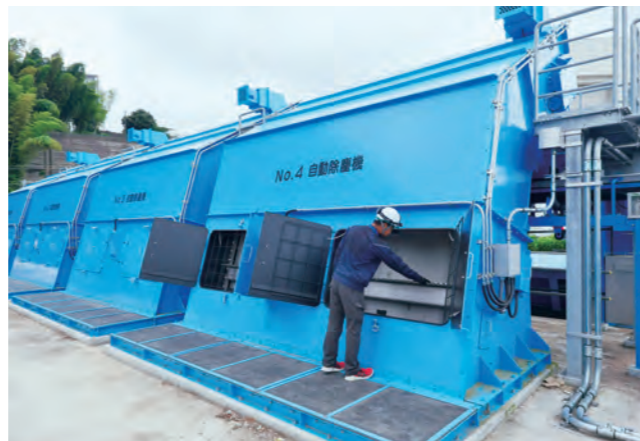
## 提供サービス\_Services Provided



■ System Design

### システム設計

エンジニアリング事業で主に手掛ける工事は、自治体等のお客様が発注者となる公共工事です。上下水道などの機械・電気設備工事は対象となる機器に関する性能・仕様を定義した「設計図書」に基づいて入札・発注が行われます。「システム設計」は、設計図書に基づいて最適な機器や材料の選定を行い、実際に工事を行うための技術的な検討を行う工程です。発注者や関係する他工事（土木・建築等）の施工者と打合せ・検討を行い、その機械・電気設備が施設に合った最適な「システム」となるよう調整します。



■ Engineering

### エンジニアリング

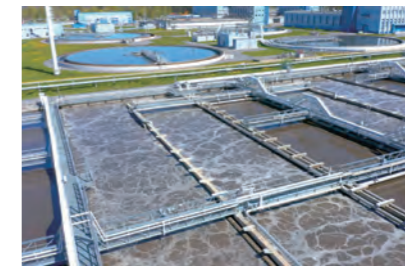
「エンジニアリング」はシステム設計に基づき、工事の現場において基礎の構築、機器の搬入・据付、配管の設置その他機材等の取り付け等を行い、機械・電気設備を最適な形で機能させる工程です。当社は、予算や品質、スケジュールおよび現場の安全をマネジメントし、工事を統括する「施工管理」を担っています。設備を新たに構築する新設、既存の機器を撤去し新しい機器に交換する更新、メーカーによるオーバーホール後の再設置や現地補修を行うメンテナンスなどさまざまな形態の施工案件を手掛けています。

## 納入先\_Delivery Destination



浄水場

飲み水などに使用する安全な水にするために、さまざまな処理工程を経て川や井戸からの原水を浄化する施設です。



下水処理場

下水道で集められた汚水を処理して、河川や海へ放流できるようにする施設です。下水道資源の有効活用の視点で注目されています。



ポンプ場

上水、下水、雨水の管路において、自然流下できない場合にポンプによって揚水し、次のプロセスに送り出す施設です。



排水機場

大雨などによる市街地や農地への水害を防ぐために、排水路で集められた雨水をポンプによって河川や海へ放流する防災施設です。



地下調節池

降った雨水を一時的に貯留する施設です。大都市圏では道路の地下などに調節池が設けられ、都市を豪雨による水害から守っています。



親水公園

池や水路、噴水など、水と触れ合うことのできる公園です。ポンプやろ過装置などの水処理設備が備えられています。

# 商社事業

ポンプやファン、ブロワなどの風水力に関する産業機器を幅広く扱う商社事業。荏原実業の祖業であるこの事業は、戦後間もない1945年に始まって以来、日本の復興や産業発展、生活環境の整備に大きく貢献してきました。

建築、化学、石油、鉄鋼、食品などのさまざまな産業分野に向けて、給排水設備や空調設備などの設備機器を販売・施工しています。

荏原実業の商社事業は長年にわたり市場と向き合い、設備機器を供給してきました。豊富な経験とそれに裏打ちされた技術をもって今後も日本の産業の持続的な発展に寄与するとともに、人々の快適で安心・安全な生活環境を支えていきます。



## 取扱商品\_Products



陸上ポンプ

陸上に据え付けて水を送るポンプ。空調冷却水の循環や工場用水の送水などあらゆる用途に使われます。



水中ポンプ

ポンプ本体を水中に沈めて水をくみ上げるポンプ。雨水、雑排水、汚水などの排水設備で主に使われます。



汎用ファン

建物のあらゆる場所に空気を送るための送風機。給気・排気などの換気設備で主に設置されています。



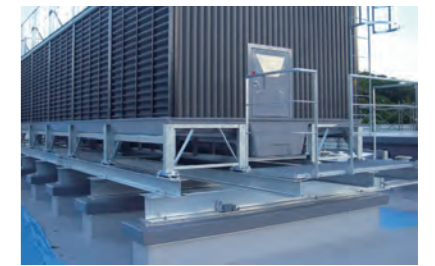
冷凍機

冷水を供給する熱源機械。セントラル空調が採用されている比較的大規模な建物で設置されます。



ボイラー

温水や蒸気を供給する熱源機械。暖房や乾燥、工場の生産ラインの熱源などの用途で設置されます。



架台・製作金物

機器や配管を据え付けるための架台。重量物である設備機器を支え、耐震性も向上させます。



給水ポンプ

建物の各階に水道水を供給するためのポンプ。水圧だけでは水道水が届かない建築物で設置されます。



消火ポンプ

建物の消火栓やスプリンクラーに消火用水を供給するためのポンプ。火災時に起動して、消火活動に使われます。



コンプレッサー

空気を高圧で送る圧縮機。工場の生産ラインなどで使われる圧縮空気を供給するために設置されます。



冷却塔（クーリングタワー）

冷却が必要な機械から回収した冷却水の熱を大気に放出する装置。冷凍機などとセットで設置されます。



各種ユニット

機器本体や配管類をまとめてプレハブ化したユニット。施工性の向上と施工品質の安定、現場工期の短縮に貢献します。



各種機器の整備作業

納入機器の整備作業。消耗品の交換や動作確認を行い、機器の長寿命化に貢献します。

# 荏原実業のR&D体制

荏原実業では研究開発や設計、品質管理などの核となる業務のみを自社で実施し、自社商品の製造を協力会社に委託するファブレスモデルを採用しています。製造を他社に委託することで経営資源を研究開発に集中し、時代のニーズに合った機敏な製品開発を目指しています。

## 【荏原実業の研究開発拠点】



■ R&D Laboratory

### 中央研究所

研究開発を専門的に実施する拠点として2005年に設立。脱臭剤・脱臭装置・水処理・バイオマスに関わる基礎研究や製品開発を行っています。技術部門が主導する製品開発への協力や営業部門や設計部門が必要とする各種分析・試験も実施しています。



■ Environmental Measuring Instrument Technology Center

### 環境計測技術センター

オゾン濃度測定を中心とした測定器・装置の研究・開発を行う拠点として2009年に設立。メーカー事業の主力製品であるオゾンモニタの改良・開発を行うとともに、製造現場や公共水インフラの管理に役立つ新たな計測機器の開発を行っています。



■ Kazusa Production & Technical Center

### かずさ生産技術センター

省エネ型産業用送風機、省エネ型空調機器や蓄電設備などZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）に関する省エネ・創エネ型製品の研究・開発・生産などを行っています。製品の性能試験やメンテナンスの拠点としての役割を果たしています。

## 【荏原実業の研究開発活動】



荏原実業は基礎研究から製品開発まで幅広い研究開発を行っています。基盤技術の確立、特定のニーズやシーズに対応するための製品開発、実際のインフラ設備への適用に向けた検証など、自社のみならず、大学などのアカデミアや他社、公的機関と共同で多くの研究開発に取り組んでいます。さまざまな段階や形態で時代のニーズに合わせたソリューションを提供するために、継続して研究開発を実施しています。



荏原実業株式会社

本社 〒104-8174 東京都中央区銀座七丁目14番1号  
TEL.(03)5565-2881 FAX.(03)5565-2894 <https://www.ejk.co.jp>

EBARA JITSUGYO CO., LTD.

Head Office 7-14-1, Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-8174  
TEL.(03)5565-2881 FAX.(03)5565-2894 <https://www.ejk.co.jp>



この印刷物は、石油系溶剤を含まない「ノンVOCインキ」を使い、印刷しています。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。